





門 加 2
第 6 5 2
巻 1

素ららの婦手

布らた世の調くひとらばあひまを
いそつそふんえこくそ独りまを
きねいのふかきそ解たきつるもは
くらむぬいそおひのちおひのちあひ
まあひとそあひまをそあひまを



ぬき	百ナ	ぬきす	百ナ	ぬく	百ナ	ぬき	百ナ	ぬ	百ナ
ぬすまひ	百ナ	ぬで	百ナ	ぬなは	百ナ	ぬのぎぬ	百ナ	ぬひ	百ナ
ぬま	百ナ	ぬまよ	百ナ	ぬき	百ナ	ぬ	百ナ	ぬき	百ナ
ぬきまぬ	百ナ								

〇 祢

ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ
祢ぢひ	百ナ	祢ぢぎ	百ナ	祢ぢめ	百ナ	祢ぢら	百ナ	祢ぢけは	百ナ
祢ぢけ人	百ナ	祢つこぎ	百ナ	祢ぢ	百ナ	祢ぢら	百ナ	祢ぢの花	百ナ
祢ぢのた	百ナ	祢ぢけ	百ナ	祢ぢの	百ナ	祢ぢら	百ナ		
祢ぢ	百ナ								

〇 能

の	百ナ	のきれ	百ナ	のぶ	百ナ	のこ	百ナ	のきたる	百ナ
		た						け	

のす	百ナ	のせ	百ナ	のぢひ	百ナ	のたぢ	百ナ	のぢひ	百ナ
のぢひ	百ナ	のぢせ	百ナ	のぢに	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ
のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ
のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ
のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ	のぢひ	百ナ

波比不返保の部

〇 波

は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ
はむ	百ハ	はむ	百ハ	はむ	百ハ	はむ	百ハ	はむ	百ハ
はく	百ハ	はく	百ハ	はく	百ハ	はく	百ハ	はく	百ハ
はきけ	百ハ	はきぬ	百ハ	はきぬ	百ハ	はきぬ	百ハ	はきぬ	百ハ
はき	百ハ	はき	百ハ	はき	百ハ	はき	百ハ	はき	百ハ
はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ
はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ
はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ
はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ
はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ	はら	百ハ

引書畧名

古	古事記	日	日本紀	釋日	釋日本紀	續日	續日本紀
後紀	日本後紀	續後紀	續日本後紀	式	延喜式	祝	延喜式
万	万葉集	菅万	菅家万葉集	新字	新撰字鏡	和	和名抄
江次	江家次第	古拾	古語拾遺	靈	靈異記	古今	古今集
後	後撰集	拾	拾遺集	後拾	後拾遺集	金	金葉集
詞	詞花集	千	千載集	新古	新古今集	新勅	新勅撰集
續後	續後撰集	續詞	續詞花集	堀首	堀川院百首	源	源氏物語
伊	伊勢物語	文	文選	仙	庭仙窟		

此餘諸書名ハ全ク舉



